

| 委員 会 名 | 開 催 日 | 報 告 者 氏 名 | 内線番号 |
|-------------------------|-----------------|-----------|------|
| 第 1 回工学研究科 情報システム委員会 | 2014 年 5 月 26 日 | 下村 卓 | 4869 |

日時： 2014 年 5 月 26 日(月)16:15-17:50

場所： B4 棟 1F 中会議室

出席者：下村卓委員長，大同寛明副委員長，小林友明(機械)，南部陽介(航空)，坪郷尚(海洋，中谷直樹委員の代理)，川野秀一(数理)，宍戸寛明(電物)，三好悠司(電情)，井上勝文(知能)，弓場英司(応化)，岡本尚樹(化工)，石井悠衣(マテ)，松浦寛人(量子)，山田智貴(生産技術センター)，武藤記子(工学支援室)

○議題

1. 平成 26 年度工学研究科情報システム委員会・各委員の紹介

委員長，副委員長，工学研究科各分野・生産技術センター委員，支援室の紹介とメールリングリストの確認をした。

2. 平成 26 年度工学研究科情報システム委員会の位置づけ・役割の確認

本委員会の位置づけと役割の確認を行った。4.委員会の仕事(イ)分野でのメールアカウントのマネージメント：所属学生の Email アドレス一括登録(エリアス設定)に関して，教員が申請書を作成する際，学生に利用者 ID を聞く必要があるが，これはセキュリティポリシー(利用者 ID を他人に漏らしてはいけない)に反する。また，教員組織と教育組織が一致しないため，どの学生を誰が面倒みるかが曖昧である。院生のエリアス申請については学生課が面倒をみるべきではないか。学生のエリアスについては，現在，学術情報 C.情報システム委員会で検討中であるが，これらについてもあわせて改善を要望することになった。(エ)工学部限定ページについて，接続方法の質問があった。HMS に DNS 登録された PC(工学部ドメイン)なら接続可能だが，HMS 登録しても DNS 登録しなければ接続不可である点，支援室は工学部ドメインでないので ID, PW を入力しているが，工学部教員は上記方法で接続できるので，支援室は ID, PW をむやみに教員に教えないことを確認した。また，工学部限定ページに地域連携研究機構・放射線研究センターから連携教員の研究紹介を掲載したいとの要望があったが，センターで対応してもらうことになった。6.eng ドメインについて，工学部 学部・大学院公式サイトの管理・更新の手順を確認した。HP 運営委員会(広報専門委員会委員長・副委員長，情報システム委員会委員長・副委員長)が責任をもつが，通常のデータ更新は，広報専門委員会事務局の油谷さんに連絡すると，業者が差分ファイルを作成してくれるので，それを情報システム委員会委員長の指示で，学生アルバイトが更新する手順を確認した。

【報告事項】

1. 平成 26 年度第 1 回情報システム委員会(全学の委員会)の報告

資料に基づき，委員長が報告を行った。5 月の主任会議で報告済みだが，教室会議で報告される際に，必要に応じ，補足説明をしていただくことになった。教育研究支援システムに関する規定が，昨年度の松浦委員の指摘により改訂された(各所属の担当教員が行う→当該学生にそのサービスを利用させようとする教員が行う)ことや教育研究支援サービスの一覧とその利用法が説明された。資料は抜粋であり，教員ポータルの情報共有サイトで，全資料が確認(閲覧/download)できることが示された。

【審議事項】

1. 大阪府立大学情報セキュリティポリシー運営組織図におけるシステム管理担当者の確認

昨年は，大阪府立大学情報セキュリティポリシー運営組織図において，システム管理者(専攻主任や学類長等)を補佐するシステム管理担当者として，システム管理者と同じ分野の情報システム委員を割り当てたが，今年はシステム管理者により他の委員が選出済みのため，システム管理担当者と連携して情報システム委員が各分野の管理を担当することとした。

2. 工学研究科情報システム委員会内規の改訂

松浦委員の案が修正(工学類→工学域)，加筆(「情報セキュリティポリシーに基づくシステム管理担当者の推薦」の前に「要請があれば」を挿入)の上，承認された。工学研究科→工学研究科，工学域，及び生産技術センター(以下，工学研究科等と称する)とすることに加え，従来の注釈を反映させた改訂となった。